

Japan Flower Selections PRESS

Garden Plant Division2024

ジャパンフラワーセレクション

ガーデニング部門2024

入賞・特別賞受賞品種のご紹介



ガーデニング部門

Spring
Summer
Autumn



ガーデニング部門の入賞・特別賞が決定しました。



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

Japan Flower Selections Garden Plant Division

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション（JFS）」のガーデニング部門では、2024年度は、花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する審査・観察会を4回実施しました。

審査・観察会は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において実施しました。

千葉大学環境健康フィールド科学センター JFSガーデニング部門審査圃場（露地花壇・屋根付き施設）の様子
JFS Trial Garden & Green House at Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University.



Field Examination 審査会実施概要

■審査会：①2024年7月2日 ②8月20日 ③10月8日 ④11月18日

■植栽・審査会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

Judges 審査員

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

部門長
山本岳史 Takeshi Yamamoto
豊明花き(株) 企画本部外商部 部長

杉井志織 Shiori Sugii
はなぐみ 代表

山口まり Mari Yamaguchi
(一社)日本ハンギングバスケット協会 理事

尾崎明弘 Akihiro Ozaki
(株)オザキフラワーパーク
代表取締役

村上智弘 Tomohiro Murakami
(株)フラワーオークションジャパン
鉢物部 部長

渡辺 均 Hitoshi Watanabe
千葉大学環境健康フィールド科学センター
教授



なお、これら入賞した品種の中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。ベスト・フラワー（優秀賞）は、この年の最優秀賞である「フラワー・オブ・ザ・イヤー」の候補となります。



JFS Trial Garden for group planting

◆露地花壇 群植した時のパフォーマンスを確認（群植の例）

2022/5/26
（定植後1日）



2022/7/21
（定植後57日）



2022/9/1
（定植後99日）



JFS Trial Green House for single planting

◆屋根付き施設 1株のパフォーマンスを確認、8～9号鉢に定植して観察（単株の例）

2021/11/11
（定植後6日）



2022/5/10
（定植後186日）



2022/6/20
（定植後227日）



JFSガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学環境健康フィールド科学センター）にて2～3週間ごとに栽培記録をつけ、生育経過を観察した資料と現地での審査で行います。

栽培方法は？・・・植栽計画や維持管理は千葉大学環境健康フィールド科学センターの監修で行われています。

露地花壇と屋根付きの施設の中で行い、それぞれの環境下での生育を観察しています。

メンテナンスは一般家庭における管理方法を想定したメンテナンスを行います。

審査方法は？・・・栽培試験では定期的に写真撮影と計測による栽培記録シートを作成。栽培記録シートも参考にしながら、植栽場所で現地審査（採点評価・協議）を行います。

第73回 関東東海花の展覧会 1月31日(金)～2月1日(土)で
ジャパンフラワーセレクションの過去の入賞品種など、自社のお花のPRをしませんか？

**ジャパンフラワーセレクション過去の入賞品種、
特別賞受賞 品種特別展示 出品募集のご案内**

2025年1月31日(金)～2月2日(日)開催の「第73回 関東東海花の展覧会」で、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行います（JFS受賞品種展示は、1月31日・2月1日の2日間）。

2024年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場としたいと思います。ご出品のご協力を宜しくお願い致します。

詳しくは、巻末のご案内をご覧ください。

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス/ニューバリュー特別賞 同時受賞]

ペロニカ「ウィザーディング ホワイトワンス」

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 育成者 : Walters Gardens
 育成者権者 : (株)ハクサン
 観察期間 : 2024年4月30日～11月18日
 審査講評 : 花茎の上がりが多く、花穂につく花数も多い、連続開花性のあるペロニカ。4月末に定植してから11月中旬の最終の観察・審査まで切り戻しを行った時期を除いて、常に花が楽しめる状態にあった。

花穂が長く咲き伸びるため、開花後に茶色の花がらが目立つという意見もあったが、露地花壇ではセルフクリーニングされやすく、気になりにくいということも観察された。盛夏にも株元に新芽が見られ、さらに切り戻しすることで草姿が整い、観賞期間がのびた。

連続開花しているのので、他の花の植え替え時期に「つなぎ」となる植栽のパートナーのような存在にもなる。また、夏の花壇に今までと異なる雰囲気を作ることができる素材としておすすめできる。

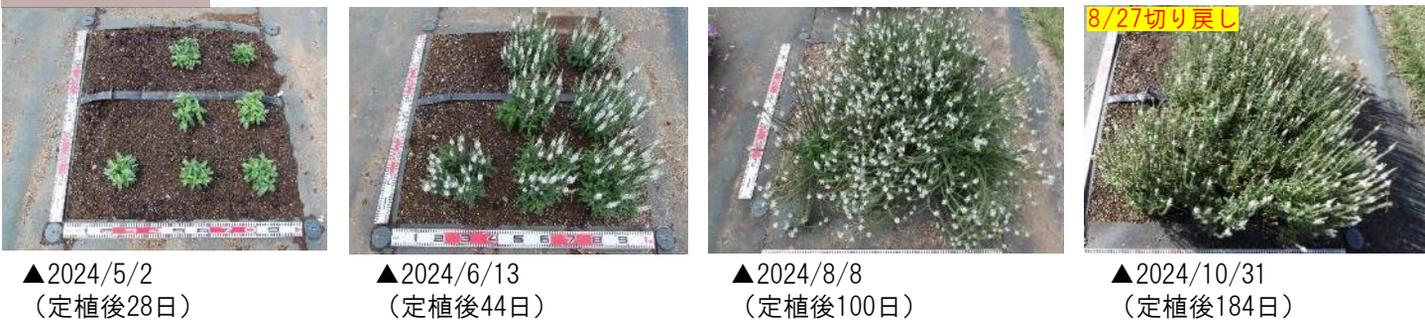
ベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス、ニューバリュー特別賞を同時受賞。



屋根付き施設



露地花壇



ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト/ニュースタイル特別賞 同時受賞]

ニチニチソウ「サニープリンセス ブルー」

サントリーフラワーズ(株)



8/20撮影

受賞者 : サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ : <https://www.suntory.co.jp/flower/>
 育成者 : 友松康一
 育成者権者 : サントリーフラワーズ(株)
 観察期間 : 2024年5月18日～10月8日
 審査講習 : 花卉の中心から細い花卉が伸び八重咲きとなるニチニチソウ。従来のニチニチソウのイメージを変える品種。

5月中旬の定植直後からよく分枝し、すぐに多くの花が楽しめる。従来の八重のニチニチソウにみられる葉のよじれがなく、つやもあり葉も美しい。

同シリーズの3色展開のうちブルーは、ピンク・ホワイトよりやや花径が大きい。発色は露地花壇よりハウスのほうが良いという評価もあった。ピンチは特に不要のようだが、生育が非常に旺盛なため、8月下旬に一度行ったところ、よりまとまりが良くなった。こんもりとした1株の満足度も高く、涼し気なブルーの八重のニチニチソウとしての新規性など、見所の多いおすすめできる品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞、ニュースタイル特別賞を同時受賞。



10/8撮影
(8/28ピンチ)



10/8撮影

屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/7/25
(定植後68日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/9/19
(定植後124日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/8/8
(定植後82日)



▲2024/9/19
(定植後124日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー/ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

カリロファス「サニーチャープ」

(株)ハクサン



受賞者：(株)ハクサン (愛知県)
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 育成者：WinGen
 育成者権者：(株)ハクサン
 観察期間：2024年5月18日～11月18日
 審査講評：暑く乾燥の厳しい環境で自生していたアメリカ原産のカリロファスの園芸品種。軽やかさのある明るい黄色の花と細い葉は、人気の自然風な花壇に似合いそうな雰囲気。

非常に耐暑性は高く、春から晩秋にかけて連続開花することが確認された。花が減った時期もあったが、秋に差し掛かり、また咲き始めた。

一旦根が張れば、特別な手入れは不要なことも高評価だった。花がらがやや目立つという意見もあったが、咲き終わりは花がらが乾燥して萎むので手間はあまりかからない。露地花壇では草姿、草丈のバランスも良く、黄色のじゅうたんようになった様子が美しかった。夏の花壇の新しい素材としておすすめできる。

ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞、ガーデンパフォーマンス特別賞を同時受賞した。

8/20撮影

7/1撮影



7/1撮影

屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/7/11
(定植後54日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/10/17
(定植後152日)



▲2024/11/14
(定植後180日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/11/14
(定植後180日)

ベスト・フラワー（優秀賞）

[コンテナ・ガーデンパフォーマンス/ライフデザイン/フォトジェニック特別賞 同時受賞]

トレニア「スーパートレニア カタリーナ ラムレーズン」

(株)ハクサン



受賞者：(株)ハクサン (愛知県)
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 育成者：(株)ハクサン
 育成者権者：(株)ハクサン
 観察期間：2024年5月18日～11月18日
 審査講評：

分枝性に優れる多花性のスーパートレニア「カタリーナ」シリーズの新色。2019年出品の同シリーズ「ピンクリバー」、2023年出品の「アメジスト」と同様で高温多湿に強く、連続開花性は特筆に値する。

シックな色あいのため、同シリーズの中では花が少なく見えやすい一方、他の花との調和はとりやすい。這性が強く、土についた節から根が出て広がるので、1株が覆う面積が大きくグランドカバーとしても活用できる。観察では、鉢植えのみ一度切り戻し、株の姿を整えた。花色の面白さを近距離から観賞してもよいし、露地花壇などでは切り戻し無しで旺盛に育ててもよい。

花がら摘みも不要で、初心者にも育てやすくおすすめできる。

ベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス/ライフデザイン/フォトジェニック特別賞という多くの賞を同時受賞。



屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/7/11
(定植後54日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/9/19
(定植後124日)



▲2024/11/14
(定植後180日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/7/11
(定植後54日)



▲2024/9/19
(定植後124日)



▲2024/11/14
(定植後180日)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔カラークリエイト/フォトジェニック特別賞 同時受賞〕

ルドベキア「アーバンサファリ サバンナサンセット」

(株)ハクサン



受賞者：(株)ハクサン (愛知県)

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

育成者：Thompson and Morgan

育成者権者：(株)ハクサン

観察期間：2024年5月25日～10月8日

審査講評：耐暑性に優れ、オレンジ、イエローゴールド、ブラウンに色が変化するルドベキア。花型が立体的で、横から見た際の花弁の重なりと色の変化の美しさが特徴。

分枝がよく、開花数が多いが立ち姿もしっかりとしており、草姿のバランスが良い。開花後期に花色がグリーンにも変化し、咲き終わりまできれいに長く楽しめる点は、商品性も高く評価された。

ベスト・フラワー（優秀賞）に加え、立体的な花型、美しいグラデーションにカラークリエイト特別賞、フォトジェニック特別賞も同時に授与された。



屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後5日)



▲2024/6/27
(定植後33日)



▲2024/7/25
(定植後61日)



▲2024/8/22
(定植後89日)



▲2024/9/19
(定植後117日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後5日)



▲2024/6/27
(定植後33日)



▲2024/7/25
(定植後61日)



▲2024/8/22
(定植後89日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト/ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

アンゲロニア「エンジェルフレア ブラック」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評：
ダークパープル～黒色のシックな花色のインパクトあるアンゲロニア。暗い花色だが、花が株に埋もれず、存在感を楽しめる。地際からの花上がりが美しい。

半這性ということで適度な株の広がりも楽しめるが、やはり切り戻しをするほうが草姿・花上がりについてこの品種のキリッとした雰囲気表現されるようだった。

明るい色の花との組み合わせで、ガーデンや寄せ植えに新たな雰囲気を作り出せる名バイプレイヤーとなるだろう。

ベスト・フラワー（優秀賞）と同時にカラークリエイト特別賞とガーデンパフォーマンス特別賞を同時受賞。



屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/22
(定植後79日)



▲2024/9/5
(定植後93日)



▲2024/10/3
(定植後121日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/9/19
(定植後107日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング/コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同受賞]

ニチニチソウ「タイタニウムポルカドット」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/
育成者：Ball Horticultural Company
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
観察期間：2024年6月4日～10月8日
審査講評：

フィトフィトラという疫病菌に対する耐性を備えた同社タイタンの新シリーズ「タイタニウム」。

観察中枯死株はなく、生育は安定していた。連続開花し、10月の時点でも花が小さくならず、また、分枝性、株張りも比較対照のために同時に定植した従来のタイタンシリーズと遜色ないことが確認された。

見た目の新奇性ではない「耐病性」という特徴を消費者にわかりやすくアピールしたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とブリーディング特別賞、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞をを同時受賞。

8/20撮影



屋根付き施設



▲2024/6/13 (定植後9日)



▲2024/7/11 (定植後37日)



▲2024/8/8 (定植後65日)



▲2024/9/5 (定植後93日)



▲2024/10/3 (定植後107日)

露地花壇



▲2024/6/13 (定植後9日)



▲2024/7/11 (定植後37日)



▲2024/8/8 (定植後65日)



▲2024/9/19 (定植後107日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

ニチニチソウ「まんまるピンカ ローズ」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



8/20撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評：小中輪のニチニチソウで、ノーピンチでもこんもりとまとまる「まんまるピンカ」シリーズのローズピンク色品種。花弁の先も丸く、柔らかな印象。

コンテナ植えでも露地花壇でもバランスよくドーム状に咲く草姿の良さと、多花性・連続開花性が確認できた。コンパクトで、節間も短く、ハンギングバスケットなどへの活用もおすすぬ。

ベスト・フラワー（優秀賞）
コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞受賞。



8/20撮影



7/1撮影

屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/9/5
(定植後93日)



▲2024/10/3
(定植後121日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/9/19
(定植後107日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング/ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

モナルダ「ピーマイン レッド」

(株) エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評：うどん粉病耐性が強いモナルダ「ピーマイン」の赤色品種。初年度開花型の宿根草。

草丈約40～50cmほど、コンパクトな草姿で、分枝も良く、低い位置で真夏にもよく開花していた。花終わりがあまり気にならない点も、暑さが厳しい夏にはありがたい。

9月以降、株が暴れ気味にはなったが、花は少なくはなったが秋にも開花していた。ふんわりとした花型は、新しい夏花壇の素材として活用したい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とガーデンパフォーマンス特別賞受賞。



屋根付き施設



▲2024/6/13 (定植後9日)



▲2024/7/11 (定植後37日)



▲2024/8/8 (定植後69日)



▲2022/8/22 (定植後83日)



▲2022/9/5 (定植後97日)

露地花壇



▲2024/6/13 (定植後9日)



▲2024/7/11 (定植後37日)



▲2024/8/8 (定植後69日)



▲2024/8/22 (定植後83日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

ペチュニア「YES！ミルキーシャワー」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評：分枝性に優れ、花径3～4cmの小輪多花性、高温多湿な日本の夏にも育てやすい「YES！シリーズ」の新品種ミルキーシャワー。過去に出品されたYES！イエロー、YES！ピンクスマイルと比較しても、優れたパフォーマンスが見られた。より長く楽しむためには一度ピンチすることをおすすめする。

真っ白ではなく、極淡いくリーム色の花が、他の花色との馴染みもよく、組み合わせる楽しさも提供できる。ベスト・フラワー（優秀賞）と、ガーデンでもコンテナでもどちらにもおすすめの種類としてコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞も受賞。

8/20撮影



8/8撮影



7/1撮影

屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/9/5
(定植後93日)



▲2024/10/3
(定植後121日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/9/19
(定植後107日)

入賞 ニチニチソウ「サニープリンセス ピンク」



受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ：<https://www.suntory.co.jp/flower/>
 育成者：友松康一
 育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
 観察期間：2024年5月18日～10月8日
 審査講評：

花弁の中心から細い花弁が伸び八重咲きとなるニチニチソウ。従来のニチニチソウのイメージを変える品種。

5月中旬の定植直後からよく分枝し、すぐに多くの花が楽しめる。従来の八重のニチニチソウにみられる葉のよじれがなく、つやもあり葉も美しい。

同シリーズのブルー、ピンク、ホワイトの3色展開の観察を行ったが、比較的性質は揃っているように見受けられた。生育旺盛だが株割れもせず、9月にやや花数は減るものの、約半年間楽しむことが可能。適宜ピンチをすることもおすすめしたい。ピンクは、露地花壇・ハウスとも発色が良く、強健で誰にでも育てやすい良い品種。



8/20撮影

8/20撮影

8/20撮影

屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/7/25
(定植後68日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/9/19
(定植後124日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/8/8
(定植後82日)



▲2024/8/22
(定植後96日)

入賞 ニチニチソウ「サニープリンセス ホワイト」



8/20撮影

受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ：<https://www.suntory.co.jp/flower/>
 育成者：友松康一
 育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
 観察期間：2024年5月18日～10月8日
 審査講評：

花弁の中心から細い花弁が伸び八重咲きとなるニチニチソウ。従来のニチニチソウのイメージを変える品種。

5月中旬の定植直後からよく分枝し、すぐに多くの花が楽しめる。従来の八重のニチニチソウにみられる葉のよじれがなく、つやもあり葉も美しい。

同シリーズのブルー、ピンク、ホワイトの3色展開の観察を行い、比較的性質は揃っているように見受けられたが、ホワイトは、やや花径が小さく、花数も少ないようだった。花壇よりコンテナ向きかという評価もあり、涼し気で可憐な花を近距離から楽しむことをおすすめしたい。



8/20撮影



8/20撮影

屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/7/25
(定植後68日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/9/19
(定植後124日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/8/8
(定植後82日)



▲2024/9/19
(定植後124日)

入賞 ペチュニア「スーパーチュニア ビスタジャズベリー」 (株)ハクサン



8/20撮影

受賞者：(株)ハクサン (愛知県)

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

育成者：WinGen

育成者権者：(株)ハクサン

観察期間：2024年5月18日～10月8日

審査講評：日本の酷暑を乗り越える強健なペチュニア「スーパーチュニア」のビビッドなパープルカラーの「ビスタジャズベリー」。小輪で多花、非常にペチュニアらしい色。

新奇性という点にはやや欠けるが、古い花が目立たず、丈夫で使いやすさがある。草勢が強く、株張りも素晴らしいため、定植してから花壇が仕上がった状態になるまで時間がかからない。1株でカバーできる面積が大きく、存在感ある色で遠景でも映えるため、ランドスケープでの使用にも向く。より安心して楽しむために切り戻しをすることを推奨したい。



8/20撮影



8/20撮影

屋根付き施設



▲2024/5/30 (定植後12日)



▲2024/6/13 (定植後26日)



▲2024/7/11 (定植後54日)



▲2024/8/22 (定植後96日)



▲2024/9/19 (定植後124日)

露地花壇



▲2024/5/30 (定植後12日)



▲2024/6/27 (定植後40日)



▲2024/7/25 (定植後68日)



▲2024/8/22 (定植後96日)

入賞 ニチニチソウ「まんまるピンカ ポルカドット」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評：小中輪のニチニチソウで、ノーピンチでもこんもりとまとまる「まんまるピンカ」シリーズの白色品種。中心にレッドアイが入る。

コンテナ植えでも露地花壇でも多花性・連続開花性が確認できた。ノーピンチでドーム状になるという点では、同シリーズのローズのほうがまとまりがあった。9月以降はやや株が乱れ始めたが、ピンチをすれば問題ない範囲。



屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/8/22
(定植後79日)



▲2024/9/5
(定植後93日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/9/19
(定植後107日)

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

(切花部門・鉢物部門)
これまで比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「コンテナパフォーマンス特別賞」

「ガーデンパフォーマンス特別賞」

(ガーデニング部門)
コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と表記します。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRIにご活用ください。



ご存じですか？ ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」をおこなうことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。



ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。

HPなどで自社製品の紹介に。

カタログの商品紹介や店頭POPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカタログや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク 日本花き取引コード（JFコード）あり 全6パターン

*JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。



■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録した品種が、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）になった場合は、専用のロゴマークが使用できます。

■ その他、ジャパンフラワーセレクションの広報用のロゴ（全4パターン）もご利用になれます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ 全4パターン



■ JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円（税込66,000円）の認定登録料がかかります。（認定登録は任意です）
認定登録申請書にご記入の上、事務局までお送りください。
認定登録申請書の様式は、jfpc@jfpc.or.jpにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

ジャパンフラワーセレクション過去の入賞品種、 特別賞受賞 品種特別展示 出品募集のご案内

@
第73回
関東東海
花の展覧会

2025年1月31日(金)～2月2日(日)開催の「第73回 関東東海花の展覧会」で、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行いますのでご案内いたします(JFS受賞品種展示は、1月31日・2月1日の2日間)。2024年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場としたいと思っております。ご出品のご協力を宜しくお願い致します。

* 関東東海花の展覧会とは・・・花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。第73回の当番都県は「群馬県」です。

■ PR展示の対象：過去のJFS入賞品種・特別賞受賞品種とその関連品種

■ 展示場所：東京 池袋 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD (入場無料)

■ PR展示申し込み締め切り：2025年1月22日(水)

* 展示スペースに限りがありますので、締め切り日以前に締め切る場合があります。ご希望の方は早めにお申し込みください。

■ 展示品搬入日時：

① 宅配便による搬入の場合 2025年1月30日(木) 午前中 必着

② 出品者による直接搬入の場合 2025年1月30日(木) 13:00～16:00 必着

* この日以外は受け取ることができませんのでご注意ください。

■ PR展示期間：2025年1月31日(金)～2月1日(土) の2日間

■ 出品料：無料

■ 搬入先住所：〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館2階 展示ホールD
第73回関東東海花の展覧会 出展者名(一財)日本花普及センター

出品をご希望される方は、別添「受賞品種PR展示申込書 兼 花材出荷通知書」の様式にご記入の上、
メール又はFAXでお申し込みください。受領後、(一財)日本花普及センターより搬入についてご案内いたします。



関東東海花の展覧会(2024)の受賞品種PR展示の様子

お問い合わせ・お申し込みは 一般財団法人日本花普及センター まで

E-Mail jfpc@jfpc.or.jp

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目6番17号

TEL: 03-3664-8739 / FAX: 03-3664-8743



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準」。
ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へおすすめください。

* 入賞品種は認定登録をすることで販売やPRにこのマークをご利用いただくことができます。



<http://www.jf-selections.net/>



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp